

文化・芸術

「Mother's #38」

2002年、発色現像方式印画
108・0mm×74・0mm（作家蔵）

石内 都（1947年〜）

2000年に84歳で亡くなった母の最後の誕生日に撮った手、足、やけど痕の残る皮膚の接写「25MARI916」と母が身に着けていた衣類や遺品で構成した「Mother's」。無口だった母と、撮影を通じて対話を始めるように撮影されたシリーズです。

遺品の数々と向き合う中で、やがて口紅の赤はまさにこの赤で写したいという思いに至ります。モノクロームの世界に没入してきた作家に「Mother's」は、色彩を意識させる契機を与えました。

2005年、第51回ベネチア・ビエンナーレで展示されると、国境を超えて多くの人々に多様な感情を喚起させることとなります。本シリーズにおけるモノクロームとカラーの往還は、本展のハイライトといえましょう。

（小此木）

企画展「石内都
STEP THROUGH TIME」から

《名画の扉》

